



# 昆虫生息調査結果

粘着トラップ 図面表示 ● フェロモントラップシバナムシ用 図面表示 ▲  
フェロモントラップメイガ用 図面表示 ▲

調査場所	図面No.	捕獲虫	捕獲数	捕獲総数
展示室	●1	カマドウマ科	2	10
		コオロギ科	3	
		コメツキムシ科	1	
		コバエ類	4	
	●2	コオロギ科	1	6
		ハサミムシ科	1	
		クモ類	2	
		コバエ類	2	
	●3	オサムシ科	1	4
		コバエ類	3	
	●4	カ科	1	2
		コバエ類	1	
	●5	コバエ類	2	2
	●6	コナチャタテ科ヒラタチャタテ	3	8
		クモ類	1	
		コバエ類	4	
	▲1	コバエ類	2	2
	▲1	コバエ類	1	1
	▲2	なし	0	0
	▲2	カ科	1	1
	▲3	なし	0	0
	▲3	なし	0	0
書庫	●7	コナチャタテ科ヒラタチャタテ	2	4
		コバエ類	2	
	▲4	なし	0	0
	▲4	なし	0	0
収蔵庫1	●8	コナチャタテ科ヒラタチャタテ	1	1
	▲5	なし	0	0
	▲5	なし	0	0
収蔵庫2	●9	コナチャタテ科ヒラタチャタテ	2	3
		コバエ類	1	
	▲6	なし	0	0
	▲6	なし	0	0

塵埃中昆虫等調査 図面表示 ◎

調査場所	図面No.	捕獲虫	捕獲数	捕獲総数
展示室	1	なし	0	0
書庫	2	なし	0	0
収蔵庫1	3	コバエ類	1	1
収蔵庫2	4	クモ類	1	1

付着菌調査 図面表示 ■

調査場所	図面No.	一般真菌類	コロニー数	好稠性真菌類	コロニー数
展示室	1	なし	0	アスペルギルス	1
書庫	2	なし	0	なし	0
収蔵庫1	3	なし	0	アスペルギルス	1
収蔵庫2	4	なし	0	なし	0

空気環境測定 図面表示 ×

測定項目		温度	相対湿度		浮遊粉塵量	照度
測定場所	基準値	20±2℃	55±5%		0.15mg/m <sup>3</sup> 以下	300Lx以下
			湿球	%		
展示室	1	24.6	20.0	66.0	0.012	220
書庫	2	26.6	22.0	69.0	0.015	190
収蔵庫1	3	26.2	21.8	69.0	0.016	230
収蔵庫2	4	26.2	22.0	70.0	0.010	240
外気		31.6	27.0	72.0		

《調査結果より》

- ・展示室、収蔵庫1、2でヒラタチャタテが確認された。
- ・展示室出入口で、コオロギ等の昆虫類が捕獲された。
- ・展示室、収蔵庫1で真菌類の分離が確認された。
- ・各室とも浮遊粉塵量、照度は基準値以下であったが、温度、湿度は基準値以上であった。

《今後の対策として》

- ・展示室、収蔵庫は有害生物等の生息しない環境にする為、除塵防黴施工を検討する。また、集塵機、テックリンウエットタオルを用いた日常の管理を徹底し、害虫の餌となる塵埃除去に努める。
- ・各室出入口には粘着トラップを恒常的に配置し、館内に侵入する害虫の個体数減少に努める。
- ・害虫侵入予防として、各室出入口付近には自然蒸散型忌避剤（商品名：バーミングガードGEL）の配置を検討する。
- ・より良い保存環境、展示環境維持の為、定期的な生息調査を継続していく必要がある。

＜捕獲された加害昆虫の特徴＞



ヒラタチャタテ  
＜チャタテムシ目コナチャタテ科ヒラタチャタテ＞

【加害対象物】書籍、動物標本

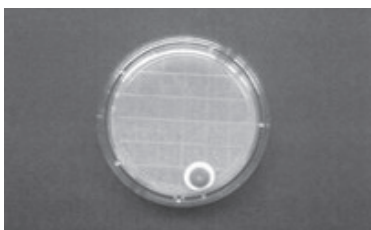
【体 長】1.0～1.3mm内外

【体 色】頭部は赤褐色、背面は暗褐色

【生 態】完全単為生殖で雄はいない。本種を含めコナチャタテ科は30～40% RH以下では生存できない。

【加害の特徴】糊付けした紙を好み、発生頻度はかなり高い。

＜採集されたカビ＞



アスペルギルス菌 (Aspergillus)

【分 類】真菌類

【形 状】乾性カビ

【特 徴】ビロード状で平坦な集落を形成。集落は緑青色を呈する。水のある所には育成しない。レンズ、刀剣、紙類など完全な乾燥物体に育成する。

写真のカビはCP加ポテトデキストロース寒天培地を25℃、7日間培養し発生したものである。

《環境調査実施写真》



メイガ用フェロモントラップの設置



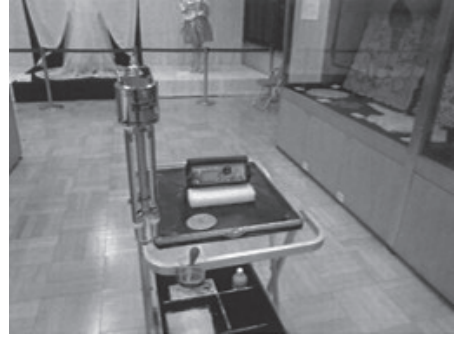
シバンムシ用フェロモントラップ及び粘着トラップの設置



附着菌試料採取



塵埃中昆虫等調査試料採取



温・温湿度及び浮遊粉塵量測定



照度測定